

天草

市政だより

サシヨサシヨ!

主な内容

- 自然災害から身を守ろう 2~5
- 歯を大切にしよう! 6~7
- 平成26年度の国民健康保険税のお知らせ 8~9
- 第43回牛深ハイヤ祭り 10~11

平成26年

6/1

No.196

自然災害から身を守る

これからの梅雨時期から秋にかけて、大雨や台風による洪水や土砂崩れなどの自然災害が発生しやすくなります。今号では、このような災害から身を守るための私たちの備えと行動についてご紹介します。

「天草市防災マップ」を活用しましょう

「天草市防災マップ」は、市民の皆さんに自然災害などへの事前の備えに役立てていただくために作成した冊子です。5月には、新しくなったものを市内の全世帯に配布しました。

この1冊で、防災に関するさまざまなことを知ることができますので、皆さんぜひご活用ください。

なお、このマップは本庁・防災危機管理課や各支所担当課、各地区コミュニティセンターに備え付けているほか、市のホームページでもご覧いただけます。



活用 その1 家の周りや地域の危険箇所を確認する

洪水をはじめ、高潮や津波による浸水想定区域、土砂災害の危険がある箇所などを掲載しています。

このマップを参考にして、家の周りや地域を見回して危険箇所がないか確認をしておきましょう。



活用 その3 防災の基礎知識を学ぶ

土砂災害や台風、津波などの基礎知識をはじめ、避難をするときの注意点、非常持出品など、防災に関する基礎知識を掲載しています。



活用 その2 避難場所や避難方法を確認する

市が指定している緊急の避難場所の一覧をはじめ、その位置をマップ上に掲載しています。自分の家から近い避難場所を確認しておきましょう。また、避難場所までの経路について家族で話し合い、実際に歩いてみてその経路が安全であるかどうかを確かめておきましょう。



気象情報などは最新情報を把握しましょう！

テレビやラジオなどで伝えられる気象情報は、最新の情報を得るようにしましょう。なお、市や県では主に次の方法で市民の皆さんに情報を提供します。

- 防災行政無線による放送
- 天草市安心・安全メールサービス（登録方法はお知らせ版の8ページに掲載）
- 熊本県防災情報メールサービス…次のホームページにアクセスし、案内に従い登録をしてください。 <http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>
- 熊本県統合型防災情報システムホームページ <http://www.bousai.pref.kumamoto.jp/>
- 天草ケーブルテレビの市民チャンネルによる災害情報の放送（同テレビ加入世帯のみ）

地域ぐるみで防災

～自主防災組織の取り組み～

私たちが災害から身を守るためには、みずからの力で備えや行動をすると同時に、地域の人たちと互いに協力しあって防災に取り組むことも重要です。

「自主防災組織」は、住民どうしが協力して自発的につくる“地域ぐるみで防災活動を行う組織”です。市内には現在、193の自主防災組織が結成されています。

市内の自主防災組織の取り組みを紹介！

「自分たちの力で避難路を整備」

須子地区自主防災会（有明町）



▲コンクリート舗装を行う住民の皆さん

有明町の須子地区自主防災会は、同地区の住民で組織する自主防災組織です。昨年7月に、市が実施している避難路整備のための原材料支給事業を活用して、津波時の避難場所として地区が定めている高台までの避難路の一部のコンクリート舗装と、手すりの設置に取り組みました。

この事業は、整備に必要なセメントや鋼管、ロープなどの原材料を市から提供し、これらの原材料を使って地域住民の皆さんで整備をするというものです。同会では、若者から高齢者まで多くの人々が参加し、いっしょになって整備を実施。まさに地域の人たちが互いに協力しあって、地域ぐるみで取り組んだ防災活動であるといえます。



▲完成した避難路



防災意識の向上にもつながった

須子地区自主防災会
松本 瑞穂会長

「登るのがたいへん」「登るときにあぶない」という声に住民の皆さんから寄せられていて、避難をしているときに万一のことが起きてしまつては元も子もないと思い、すぐに整備をすることにしました。

整備をしたのは、生コンクリートを運搬するための作業車が入れないような細い山道です。舗装をするための生コンクリートはバケツに入れて、一杯ずつバケツリレーで運びました。おかげで安心・安全な避難路を完成することができましたし、何よりみんなで取り組んだということが、防災意識の向上にもつながったと感じています。

VOICE

防災Q&A

Q 「土砂災害警戒情報」って何？

A 大雨警報の発表中に、さらに土砂災害の危険が高まったとき、熊本地方気象台と県が発表する情報です。市内を「東部（本渡・有明・御所浦・倉岳・栖本・新和・五和）」と「西部（牛深・天草・河浦）」に分けて発表されます。市ではこの情報が発表されたときは、時間帯を問わず市の防災行政無線で市民の皆さんにお知らせします。

Q 災害が発生したとき、市はどのような体制をとるの？

A 大雨や台風に伴う警報などが発表されると、本庁・各支所で警戒態勢をとり、情報の収集を行います。災害が発生したときや発生のおそれ



がある場合は、市役所本庁舎内に「災害対策本部」を設置し対応します。

Q 「避難勧告」と「避難指示」はどちらの違い？

A 市では、市民の皆さんの生命や財産を災害から守るため、必要な地域に「避難勧告」「避難指示」を行います。

「避難勧告」は、安全のため早めの避難を勧めるときに使います。必要に応じて早めに避難してください。

「避難指示」は、危険が目前に迫っている場合などに行います。「避難勧告」よりも緊急度と危険度は高くなります。すみやかに避難してください。

自主防災組織が行う防災資機材の整備などに補助金を交付しています

◆補助対象

- ①防災資機材の整備（毛布やラジオ、懐中電灯、非常用食料など）。
- ②防災に関する会議や研修会の開催、訓練の実施に必要な経費。

◆補助金額＝5万円を上限。



▲倉岳町の棚底3区自主防災会が昨年整備した防災資機材

避難路などの整備に必要な原材料を支給します

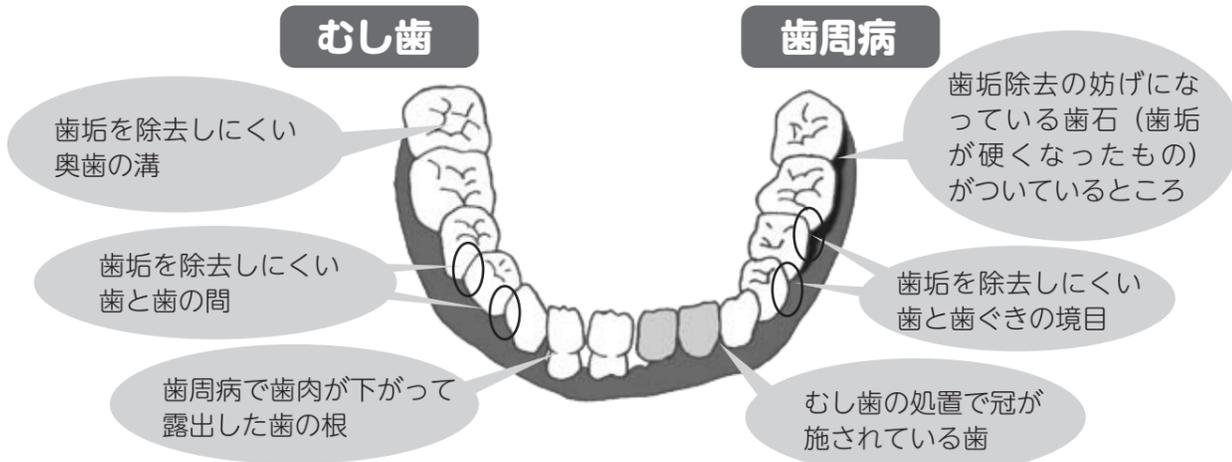
地域で定めた避難路などを、地域の皆さんがみずからの労力により整備を行う場合、整備に必要な原材料（セメント、鋼管、ロープ、誘導看板など）を支給します。

◆支給原材料の限度額＝1 避難路当たり5万円。

◆申請方法＝本庁・防災危機管理課または各支所担当課へ申請してください。

【問い合わせ先】本庁・防災危機管理課 ☎231111

ご存じですか？ **むし歯と歯周病になりやすい場所はここです**



ぜひ実践を！ じょうずに歯磨きをしましょう！

むし歯や歯周病を予防するには、日ごろからじょうずに歯磨きをすることが大切です。そこで、じょうずな歯の磨き方についてご紹介します。

むし歯予防	歯周病予防
<p>①奥歯のかむ面の溝に歯ブラシの毛先を当てて、小刻みに振動する。</p>	<p>①歯の表側と奥歯の裏側は、歯と歯ぐきの境に歯ブラシの毛先を45度になるように当てて、弱い力でこまかく振動する。</p>
<p>②歯の表と裏側は歯ブラシの毛先を直角に当てて、往復運動する。</p>	<p>②前歯の裏側は、歯ブラシを縦に使用する。</p>
<p>③歯と歯の間にデンタルフロス（歯を清掃する糸）を使用する。</p>	<p>③歯と歯の間は、歯間ブラシを使用する。</p>

むし歯予防講演会を開催します 入場無料 ※託児サービスあり。

とき 6月14日⑤ 午後3時から同5時まで
ところ 天草市民センターホール
内容 =〔演題〕「幼児期のむし歯予防について」
 〔講師〕大林裕明氏（熊本県歯科医師会 学校歯科理事）
【問い合わせ先】 本庁・健康増進課（天草中央保健福祉センター内） ☎243737



歯を大切にしよう!

6月4日から同10日までは、「歯と口の健康週間」です。歯は、食べ物をよくかみ砕き体に必要な栄養分を吸収しやすくしているなど、重要な役割を果たしています。また、「モグモグ」「シャキシャキ」など食べることの楽しみや喜びを味わえるのも、歯があるおかげです。そんな私たちの健康な歯に大敵なのが、お口の2大疾患である「むし歯」「歯周病」です。そこで今号では、むし歯や歯周病の予防などについてご紹介します。

むし歯って何？

口の中の細菌が出す酸によって、歯が破壊されてしまう病気です。治療をしなければむし歯は進行し続け、治療をしたとしても元の状態になることはありません。

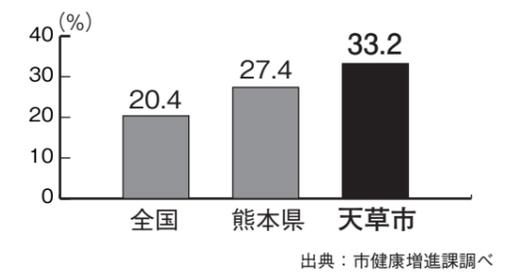
歯周病って何？

細菌によって歯を支える歯ぐきや骨が壊されていき、最後には歯が抜けてしまう病気です。日本人の40歳以上の約8割が歯周病にかかっているといわれています。

むし歯と歯周病の主な原因は、歯垢（プラーク）です。 歯垢とは、歯の表面などに付着している細菌のかたまりのことです。

DATA WATCH データウォッチ **子どものころから歯を大切にしましょう！**

右グラフは、3歳児のむし歯の保有率（平成23年度）を全国と熊本県、天草市に分けて表したものです。市の3歳児のむし歯保有率は33.2%で、全国や熊本県と比べて高いことがわかります。皆さん、ぜひ子どものころからむし歯や歯周病の予防を行うようにしましょう。



◆国保税の計算方法 (平成26年度の国保税の計算方法は次のとおりです)

国保税= ①医療給付費分+②後期高齢者支援金等分+③介護納付金分(40歳~64歳の加入者のみ対象)

	所得割額 (世帯の加入者の所得に応じて計算)	均等割額 (世帯の加入者数に応じて計算)	平等割額 (1世帯当たりの額)
①医療給付費分	= 【課税標準所得×8.6%】 +	【加入者数×21,200円】 +	【17,900円】
②後期高齢者支援金等分	= 【課税標準所得×2.9%】 +	【加入者数× 7,000円】 +	【 6,400円】
③介護納付金分	= 【課税標準所得×2.0%】 +	【加入者数× 9,400円】	

※1) 課税標準所得…国保加入者の前年の所得から基礎控除(33万円)を差し引いた額の合算額です。所得とは、事業収入は必要経費を、給与収入は給与所得控除を、公的年金等は公的年金等控除額をそれぞれ差し引いた額です。

計算例① 軽減がない世帯

●軽減判定
世帯の合計所得 214万円 → 軽減判定基準超え ⇒ 『軽減なし』

【世帯主】 国保・45歳 事業収入 270万円 事業所得 180万円
【妻】 国保・42歳 給与収入 99万円 給与所得 34万円
【子ども2人】 国保・幼児

●税額の計算
①医療給付費分 【148万円×8.6%】 + 【21,200円×4人】 + 【17,900円】 = 229,900円
②後期高齢者支援金等分 【148万円×2.9%】 + 【7,000円 ×4人】 + 【 6,400円】 = 77,300円
③介護納付金分 【148万円×2.0%】 + 【9,400円 ×2人】 = 48,400円
国保税年税額(①+②+③) ※100円未満切り捨て = 355,600円

計算例② 5割軽減世帯

●軽減判定
世帯の合計所得 50万円※ → 33万円+(24.5万円×2人)以下(5割軽減判定基準) ⇒ 『5割軽減該当』
※65歳以上の年金所得は15万円がそれぞれ控除されます。

【世帯主】 国保・73歳 年金収入 180万円 年金所得 60万円
【妻】 国保・72歳 年金収入 140万円 年金所得 20万円

●税額の計算
①医療給付費分 【27万円×8.6%】 + 【21,200円×2人×0.5】 + 【17,900円×0.5】 = 53,300円
②後期高齢者支援金等分 【27万円×2.9%】 + 【7,000円 ×2人×0.5】 + 【 6,400円×0.5】 = 18,000円
③介護納付金分 40歳から64歳までの加入者がいないため課税なし = 0円
国保税年税額(①+②+③) ※100円未満切り捨て = 71,300円

計算例③ 7割軽減世帯

●軽減判定
世帯の合計所得 10万円 → 33万円以下(7割軽減判定基準) ⇒ 『7割軽減該当』

【世帯主】 国保・61歳 年金収入 80万円 年金所得 10万円

●税額の計算
①医療給付費分 【所得割なし】 + 【21,200円×1人×0.3】 + 【17,900円×0.3】 = 11,700円
②後期高齢者支援金等分 【所得割なし】 + 【7,000円 ×1人×0.3】 + 【 6,400円×0.3】 = 4,000円
③介護納付金分 【所得割なし】 + 【9,400円 ×1人×0.3】 = 2,800円
国保税年税額(①+②+③) ※100円未満切り捨て = 18,500円

※国保税について詳しいことは、本庁・国保年金課へ、国保税の支払いについては納税課いずれも ☎231111へお尋ねください。

平成26年度の国民健康保険税のお知らせ

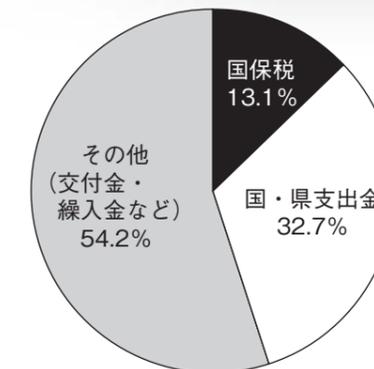
国民健康保険(国保)は、病気やけがをしたときに誰もが安心して医療を受けられるように、加入者で国民健康保険税(国保税)を出し合い、お互いに助け合うという相互扶助の制度として、加入者の皆さんに納めていただく国保税と国や県からの補助金を主な財源として事業を運営しています(グラフ1参照)。

市では、高齢化の進展や医療の高度化などで保険給付費は年々増加しており、国保の財政状況は依然として厳しい状況が続いています。

このような状況をふまえ、国保事業の健全かつ安定的な運営を図るとともに、加入者の皆さんが安心して医療サービスを受けていただくために、国保税の納付のご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

今号では、国保税の具体的な計算方法などについてお知らせします。

◆天草市の国保の財源内訳 (H24年度決算) グラフ1



◆国保税の税率

区分	※平成25年度(参考)		
	医療給付費分	後期高齢者支援金等分	介護納付金分
所得割額(税率)	8.6%	2.9%	2.0%
均等割額(1人当たり)	21,200円	7,000円	9,400円
平等割額(1世帯当たり)	17,900円	6,400円	—
課税限度額(上限額)	510,000円	※1 160,000円	※1 140,000円

※1) 平成26年度は後期高齢者支援金等分と介護納付金分の課税限度額(上限額)が変更になっています。

◆国保税の軽減

世帯主やその世帯の国保加入者の合計所得額が次の軽減判定基準に該当する場合は、均等割額と平等割額が軽減されます。また、国保加入者であった人が後期高齢者医療制度へ移行した場合、その人も含めて軽減判定を行います。

■国保税の均等割額・平等割額の軽減判定基準

- 世帯の国保加入者(旧国保加入者も含む)の合計所得額が
- ①33万円以下……………7割軽減
 - ②33万円+(24.5万円×世帯主を含む加入者数と旧国保加入者数の合計)以下……5割軽減
 - ③33万円+(45万円×世帯主を含む加入者数と旧国保加入者数の合計)以下……2割軽減

※2) 旧国保加入者…国保から後期高齢者医療制度へ移行した人のこと。
※世帯構成の変更等により、軽減判定をやり直す場合があります。
※太字は前年と変更になったところ。

第43回

牛深ハイヤ祭り

熱気に包まれた“牛深ハイヤ祭り”
を写真で振り返ってみましょう。



44隻の船団が勇壮に海上パレード



踊りハイヤ大賞に輝いた福本病院



4/20日 20日の「ハイヤ総踊り」には
26団体・1,600人が参加



花車大賞は牛深保養院



4/18日 「輝けハイヤの競演」では
10団体が熱演!



にぎわいを見せた牛深名産ハイヤ市



子どもたちによるパレード



祭りの“華”ハイヤ娘

4/19日 19日の「ハイヤ総踊り」は、
29団体・1,400人が参加



祭りを楽しむ観客



水産フェアでは刺身やあら煮など
500食分を販売



ハイヤ踊り講習会





▲お湯を浴びながら神輿を担ぐ女性たち

温泉の恵みに感謝

下田温泉祭

温泉の恵みに感謝する「下田温泉祭」が5月10・11日、同温泉街一帯で開かれました。11日のメインの「お湯かけ女神輿」では、はっぴ姿の女性たちが「ヨイヨイヨイヤサー」の元気な掛け声とともに神輿を担いで温泉街を練り歩き、沿道の人から勢いよくお湯がかけられていました。神輿を担いだ女性たちは、「とても楽しかったです」と話していました。このほか、ステージイベントやブリのつかみどり大会なども行われ、約8,000人の人出でにぎわっていました。

親子で仲良く化石発掘体験！

ゴールデンウィーク化石教室

4月26・27・29日と、5月3日から同5日まで、御所浦白亜紀資料館で「ゴールデンウィーク化石教室」が開催されました。同館が化石に関する興味を深めてもらおうと、毎年行っているもので、県内外から家族連れなど849人が参加。同館内を市学芸員の案内で見学した後、トリゴニア砂岩化石採集場で化石採集を体験しました。参加者は、化石を見つけると熱心に学芸員に尋ねるなど、ふだんは体験することができない化石採集に興味津々で取り組んでいました。



▲化石採集を楽しむ参加者

栖本オリジナル焼酎の5代目が完成

米焼酎「栖本太鼓の響」

栖本まちづく協議会のオリジナル商品、米焼酎「栖本太鼓の響」の5代目が完成しました。この商品は、地元産のコシヒカリ（1等米とステビア草を肥料にして栽培したステビア米をブレンドしたもの）を使用しており、くせがなく飲み口のやわらかい焼酎に仕上がっています。現在、栖本町内の商店やホテルで販売しています。詳細は、同協議会事務局（栖本支所・まちづくり推進課内）☎0963111へ。



▲1,800mlが2,350円（税込・箱は別売り）、720ml（原酒43度の4合瓶）が3,500円（税込・箱あり）

自然の中で楽しく遊ぼう！

あまくさ子どもフェスティバル

市社会福祉協議会主催の「あまくさ子どもフェスティバル」が4月27日、西の久保公園で開催され約1,000人が来場しました。会場には、木工遊びやパン作りコーナーなどが設置され、参加した親子連れは、竹とんぼや紙飛行機を作って飛ばしたり、竹に巻きつけたパンを炭火で焼いたりするなど、思いおもいに遊んでいました。子どもたちは、「とても楽しくて、ずっと遊んでいきたいです」と笑顔で話していました。



▲竹に巻き付けたパンを焼く参加者たち

「天草オリーブ」ロゴデザインが決定！

最優秀作品賞に黒川潔さん

市オリーブ協議会では3月24日、2月に募集した「天草オリーブ」ロゴマークデザイン」の選考を行い、応募があった270点の中から黒川潔さん（愛媛県）の作品（左参照）を最優秀作品賞に決定しました。黒川さんは、「受賞してとてもうれしく思います。「天草オリーブ」ブランドが広く知ってもらえることを願っています」と話していました。

同協議会では今後、天草産のオリーブ商品にこのロゴマークを付けるなどして、ブランド化を図っていきます。



▲教会とイルカの群れをモチーフに天草をイメージしたロゴマークデザイン

元気に泳ぐこいのぼり

下津浦地区振興会がこいのぼりを飾る

4月20日、有明町の下津浦地区振興会が子どもたちに喜んでもらおうと、有明グラウンド周辺に41匹のこいのぼりを飾りました。同25日には、グラウンドを訪れた子どもたちは、風を受けながら気持ちよさそうに泳いでいるこいのぼりを見て、「わあ、すごかね」と笑顔で話していました。



▲泳ぐこいのぼりを眺める子どもたち



▲ジャガイモを山盛りに詰める参加者

山盛りのジャガイモに大興奮

ジャガジャガ祭

5月4日、天草町大江のお万ヶ池を主会場に「第15回ジャガジャガ祭」が開催され、市内外から約4,500人が来場しました。同祭実行委員会が毎年開催しているもので、メインのジャガイモ掘り取り体験には約600人が参加。バケツが山盛りになるまでジャガイモを詰めていました。

また、グラウンドゴルフやいかだレースが行われたほか、バザーコーナーではとれたてのジャガイモを使ったコロッケ1,900個が売り切れるなど大盛況でした。



▶いかだレースのようす

すばらしい力作を披露!

伝統工芸製作体験講座の作品展

天草文化交流館の伝統工芸製作体験講座の作品展が5月17日から同25日まで、同館で開かれました。会場では、平成25年度に同講座を受講した人等139人による、手まりや押し絵、土人形、パラモン^だ、陶芸、竹細工などの作品413点を一堂に展示。来場者は、受講生が作った力作を見て、「とてもすばらしいですね」と話していました。



▲作品を鑑賞する来場者

いっぱい収穫したよ

浅海ばんかん祭

4月27日、「第4回^{あさみ}浅海ばんかん祭」が深海町の旧浅海小学校で開催されました。浅海地区のみかん生産者でつくる「浅海^{ばんかん}晩柑の会」が、地域の活性化を目的に開催したものです。

同地区産の晩柑の収穫体験やみかんの重量当てなどが行われ、収穫体験に参加した子どもたちは、「大きくて収穫しがいがありました」と笑顔で話していました。



▲晩柑の収穫体験をする子ども

大きく育ててね!

アユの稚魚の放流

新和町大宮地地区に住む子どもとその保護者など30人が4月20日、地元を流れる大宮地川にアユの稚魚1,500匹を放流しました。同地区振興会が、同川の環境に関心を持ってもらおうと、くまもと里海づくり協会から稚魚の提供を受けて実施したものです。参加者は、同地区振興会役員からアユの生態について説明を受けた後、バケツに入った体長7cmの稚魚をていねいに川に流し入れていました。放流された稚魚は、順調に育つと夏から秋にかけて体長20cmの成魚になるとのことです。



▲大宮地川にアユの稚魚を放流するようす

ずらりと並んだ陶磁器を楽しむ

天草西海岸陶器市「春の窯元めぐり」

4月27日から5月6日まで、天草町と苓北町にある9の窯元などで「天草西海岸陶器市「春の窯元めぐり」」が開催されました。

各窯元には、特産の天草陶石で作られた白磁のほか、土の色合いをいかした焼き物などが並び、来場者の目を引き付けていました。期間中は通常より安く購入できるとあって、訪れた人は商品を手にとって真剣な表情で選んでいました。



▲陶磁器を手にとって見る参加者

身近にある文化財を知ろう

天草市文化財探訪を発行

市ではこのほど、市内の文化財を紹介する「天草市文化財探訪」を発行しました。市民の皆さんに、文化財が身近にあることを知ってもらおうと発行したものです。国指定重要文化財の祇園橋(船之尾町)や国史跡の棚底城跡(倉岳町)など、203点の由来や見どころを紹介しています。各支所に設置しているほか、希望者には配布していますので、皆さんぜひご覧ください。詳細は、本庁(別館)・文化課☎231111へ。



▲発行した「天草市文化財探訪」



牛深海洋少年団
牛深町
緑綬褒章
環境美化奉仕団体

受章おめでとうございます

— 春の褒章・叙勲、危険業務従事者叙勲 —

春の褒章・叙勲、危険業務従事者叙勲の発表があり、市内から1団体・3人が受章されました。おめでとうございます。

※写真下は氏名、住所、年齢、受章種別、主要経歴。受章種別の(褒)は春の褒章、(叙)は春の叙勲、(危)は危険業務従事者叙勲



小川 裕二 さん
本渡町本戸馬場・65歳
瑞宝単光章
元海上保安官



稲津 俊徳 さん
倉岳町棚底・70歳
旭日双光章
元倉岳町町長



横山 英生 さん
本渡町本渡・64歳
黄綬褒章
天草設備㈱社長



海岸線を走る道路が日本風景街道に登録

日本風景街道『あまくさ風景街道』登録証交付式

上天草市大矢野町から牛深町までの海岸線を走る道路142kmがこのほど、国土交通省が推進している「日本風景街道」に『あまくさ風景街道』として登録されました。今回の登録は、全国で134ルート目、県内では「九州横断の道 阿蘇くまもと路」について2ルート目になります。日本風景街道とは、住民や企業などが中心となって行政と連携して、“道”を舞台に地域資源の保護や活用、景観の向上、観光振興などを一体的に展開し地域活性化を図る取り組みです。

5月19日には、登録証交付式が市内のホテルで行われ、関係者など48人が出席。九州風景街道推進協議会の明石博義会長から、天草地域の行政や観光協会が組織するあまくさ風景街道協議会の横島龍一会長へ登録証が手渡されました。

今回の登録を受けてあまくさ風景街道協議会では今後、沿道の清掃作業や各種イベントの実施が予定されています。



▲登録証交付式の様子

とれたての魚介類を求めて

天草漁協崎津支所が朝市を開催

河浦町の天草漁協崎津支所で5月4日、同支所に水揚げされた魚介類などを販売する朝市が開かれました。この日は大型連休中ということもあり、会場には多くの帰省客や観光客が来場。とれたてのカワハギやマダイなどを買い求めていたほか、崎津特産の緋扇貝ひおうぎがいの試食に舌鼓を打っていました。

また、ブリの若魚であるヤズのつかみどりも実施。参加した子どもたちは、活きの良いヤズをつかまえようと必死になって追いかけていました。



▲ヤズのつかみどりをする子ども

天草最高峰の倉岳などの登山を楽しむ

倉岳六峰アルペンルートが開通

倉岳町の東端である浦地区をスタート、同町の西端である宮田地区をゴールとし、天草最高峰の倉岳（標高682m）や周囲に連なる5つの山々を結んだ全長11kmの登山ルート、「倉岳六峰アルペンルート」が、このほど開通しました。地元の登山愛好団体の倉岳トレイルクラブが、使われなくなった道を2年がかりで再整備したもの。5月18日には、開通を記念して同クラブ主催による登山会を実施。市内外から55人が参加し、登り初めを楽しんでいました。同アルペンルートについての詳細は、倉岳トレイルクラブの稲田さん ☎090 (7580) 2215へ。



▲登山ルートをあぐる参加者たち

女性美術愛好家の作品が一堂に

天草女性美術展

市内在住や天草にゆかりのある女性美術愛好家45人による、絵画や工芸作品などを展示する「第12回天草女性美術展」が、5月14日から同18日まで天草市民センター展示ホールで開催されました。会場には、天草の風景や花、人物などを油彩・水彩絵の具で描いた絵画をはじめ、縦1.6m・横1.3mもある大作の絵画など56点を展示。来場者は、「毎年、楽しみにして来場しています。女性らしい絵がいいですね」と話していました。



▲作品を鑑賞する来場者



外での遊びが大好きな
たくさんしゃべり入っています

有明東保育園 (有明町)

園児フォトスナップ



元気いっぱい！
園児達の笑顔が輝いています

手野保育所 (五和町)

若っ喝采
ワッガッサイ!!

貝川 充さん
(久玉町・25歳)

家業のかまぼこづくりをしています。地元産の原料にこだわって作ったかまぼこを天草産の松の木でいぶした“くん製かまぼこ”が、一押しの商品です。かまぼこづくりを始めて7年、父から味付けやくん製のしかたなど、多くのことを学んでいます。苦労も多いですが、お客さんに「おいしかった」といっていただけたらうれしいですし、やりがいを感じています。

これからも、皆さんに喜んでいただけるように努力していきたいです。



天草の元気が大集合！ひろば
みんなの広場



おどろき夫婦

明瀬 寅雄さん(91歳)
末子さん(91歳)
(諏訪町)

昭和24年結婚
(66年目)



◆夫婦円満の秘けつを教えてください。
お互いを尊重することだと思います。けんかをするかもしれませんが、相手の思いを大事にしているため、長引いたことはないですね。これからもお互いを思い合いながら、仲良く過ごしていきたいです。

◆お互いにひとことお願いします。
寅雄さん：いつまでもいっしょに長生きしましょう。
末子さん：とても頼りにしています。これからも優しくしてくださいね。

ザ・部活動
部活動をがんばる中学・高校生



目ざすは郡市中体連で優勝

本原 雅大さん
栖本中学校 (栖本町) 野球部・3年

部をまとめるキャプテンをしています。ポジションはピッチャーやキャッチャーをしていて、打順は3番です。3月まで部員が9人でしたが、4月に1年生5人が入ったのでとてもうれしく思っています。野球はチームワークが大切であり、そこが魅力。練習や試合のときは、みんなで大きく元気な声をかけ合って、チームの結束がより強くなるように心がけています。

6月に開かれる郡市中体連では優勝を目ざして、今まで以上にみんなで練習をがんばりたいと思います。

作品名「お父さんの作るラーメンは日本」
本渡北小学校 (浜崎町)
5年 泉 喬太くん



ぼくは、お父さんがスープを混ぜている姿がいちばん好きです。炎の勢いを表現するために何色かの色を使いました。

こども芸術館



作品名「ふしぎな せん水かん」

天草小学校 (天草町)
2年 荒川 夏空羽さん



わたしは、海が大好きです。かぞくみんなで魚のせん水かんによって、海の中をたんけんできたらいいな。



かつお
坂口克夫さん
(倉岳町浦・66歳)

自宅を開放し “おもてなし”

倉岳町を訪れる観光客をもてなそうと、自宅を開放し仲間とともに食事の提供や交流に取り組んでいる。自宅は、浦地区にある中世の山城といわれている浦城跡の山のふもとに立地。庭先の山の斜面に植えられたミツバツツジは時季になると色あざやかな花を咲かせるほか、家の下には水田が広がるなど、歴史と自然にあふれる場所だ。

市内のホテルが宿泊者向けに実施している健康ウォーキングの参加者の受け入れをメインに、昨年6月に取り組みをスタート。「となりの地区で姉夫婦が取り組んでいるのを知り、私もやってみようと思ったんです」と坂口さん。また、仕事を定年退職するまで市外で生活していた坂口さん。この間、ふるさとのすばらしさを再認識するとともに、より多くの人に天草を知ってもらいたいという思いを募らせていたと話す。

これまでに受け入れた人数は約300人。食事は調理師免許を持つ仲間が調理し、がねあげやだご汁などの田舎料理は大好評だという。「いらっしゃったすべてのお客さんにありのままの倉岳を喜んでいただいています。もちろん、私も皆さんとの出会いを楽しんでいますよ」と笑顔を見せる。

「ゆくゆくはこの取り組みを発展させて、地元の経済が潤うような仕組みを作るのが夢ですね」。その夢に向かって、坂口さんたちのおもてなしはこれからも続く。



▲観光客の皆さんと記念の1枚

今月の

h i t o

ハッピーバースデー

…今月で1歳になります…

投稿
コーナー



はな
前川華ちゃん
今釜町
父・次郎さん 母・裕美さん

おてんば娘の華ちゃん♡いっぱい食べて大きくなあれ!



はやお
川邊駿くん
倉岳町宮田
父・亮平さん 母・英香さん

おじいちゃん、おばあちゃん、雪月ちゃん、たくさん遊ぼうね!



つばさ
秋本翼ちゃん
本渡町本泉
父・和美さん 母・千由紀さん

菜那姉ちゃん大好き♡お姉ちゃんこれからたくさん遊んでね!



けんしん
益田賢芯くん
大浜町
父・賢治さん 母・しのさん

いっぱい食べて、大きくなあれ!!



いおり
宇藤伊織ちゃん
深海町
父・高志さん 母・葵さん

毎日、元気で保育園に通っているよ。じいとはあも元気だね。



まさき
富田将生くん
浜崎町
父・誠至郎さん 母・直子さん

ママママ坊主。悠生兄ちゃんごれからもういっぱい遊ぼうね!



ゆわ
佐藤由和ちゃん
八幡町
父・正樹さん 母・知寿子さん

食べるの大好き♡みんなを笑顔にしてくれます♪



はるひこ
濱陽彦くん
新和町大宮地
父・政文さん 母・由美子さん

うちの新社長は待望の男の子。姉たちにこそなされながら成長中!!



りお
浦田莉緒ちゃん
本渡町広瀬
父・隆二さん 母・まり子さん

じいじ、ばあば、いつもありがとう♡すくすく元気に育ってね♡

皆さんからの投稿を募集しています! ●応募期限=6月10日(必着)。

〈7月で満1歳になるお子さん〉

●応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。

〈読者のつぶやき〉

●応募方法=身近であったできごとや、季節に思いをはせることなど、150字程度をまとめたものに、ペンネームと住所、氏名、電話番号を記入してください(応募者多数の場合は選考)。
※表記などを統一するため、趣旨を変えずに文章を直すことがあります。
※採用されたつぶやきは、この紙面に掲載します。

【郵送・持参先】〒863-8631 市内東浜町8-1 (郵送の場合は住所記載不要) 天草市役所・秘書課

ニュースポーツとは、誰でも気軽に楽しめることを目的に新しく考案されたスポーツのことをいいます。このコーナーでは、市が推進しているニュースポーツを紹介します。

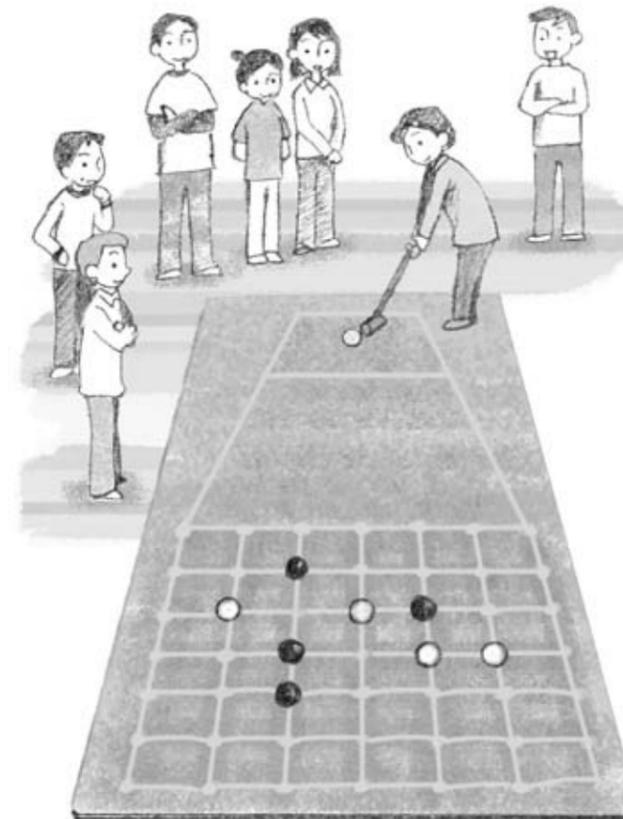
囲碁ボール

囲碁ボールは、囲碁とゲートボール、ゴルフを組み合わせた競技で、スティックを使ってボールを打ち五目並べをするというものです。

競技方法はシンプルですが、勝つためには状況に応じた戦略と駆け引き、チームワークが重要になることから、とても奥が深いスポーツです。

【競技方法】

個人または団体戦で行います。縦5m・横2mの人工芝の特製マットに49個のマス目(穴)があり、スティックを使って白または黒のボールを10個ずつ打ちます。すべてのボールを打ち終わった後に、ボールの並び方やマス目に入ったボールの個数などで勝敗を決めます。



天草宝島戦略マネージャーの戸田佳奈芽です!

このコーナーでは、昨年4月に全日本空輸株式会社(通称ANA)から市へ派遣された2人の職員の取り組みを紹介し(各号1人ずつ掲載)ます。



皆さん、こんにちは。天草宝島戦略マネージャーの戸田佳奈芽と申します。市観光振興課に所属し、市民の皆さんにおもてなしの心をより高めてもらうための取り組みを行っています。その中心となる活動が、私の約15年に渡る客室乗務員の経験と、顧客満足をテーマにしたセミナーの開催です。

5月12日には、総合交流施設「愛夢里」(河浦町)の職員皆さんを対象に開催し、接遇やクレーム対応、お客様の心理などについて話をさせていただきました。皆さんからは、「わかりやすい事例の紹介で、とてもためになりました」とのお言葉をいただき、帰り際には手を振って見送ってくださいました。天草市に来て1年が過ぎました。市民の皆さんのおもてなしの心をもっと高めていけるように、今後もがんばりたいと思います。



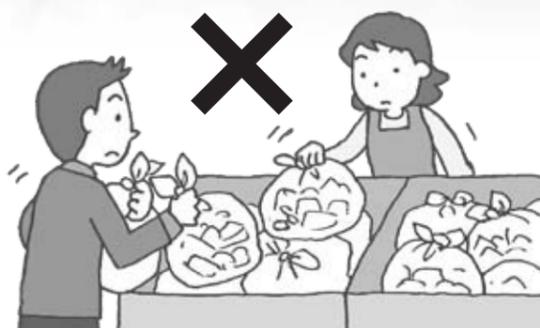
▲セミナーのようす

※戸田さんによるセミナーの開催を希望する団体を随時募集しています。詳細は、本庁・観光振興課 ☎11111へ。

環境一考

think about "eco"

資源物の出し方 プラスチック製の容器包装類は袋から出して入れてください



プラスチック製の容器包装類を袋などにまとめて収集箱に入れると、リサイクル工場での再資源化をすることができません。必ず袋などから出して収集箱に入れるようにしましょう。

ただし、キャップ類などの小さな物は、



こぶし程度の大きさで袋にまとめて収集箱に入れてください。

また、出す前に「プラマークが表示されているか」「きれいに洗っているか」を確認してから出すようにしましょう。

皆さんのご協力をお願いします。

【問い合わせ先】本庁・環境施設課 ☎1111

囲碁ボールを体験!

4月27日、市スポーツ推進委員協議会の研修会が天草市民センター体育館で開かれ、囲碁ボールの講習会が行われました。同協議会本渡支部の皆さんが講師となり、市スポーツ推進委員など46人が体験。ボールを打つたびに大きな歓声が上がっていました。



市スポーツ推進委員協議会本渡支部
浦川 至 支部長

囲碁ボールは誰でも簡単に取り組みます。市ではマットやスティックの貸し出しを行っていますし、競技方法が不明な場合は私たちがご説明します。詳細は市スポーツ振興課へご連絡ください。



市スポーツ推進委員協議会倉岳支部
堀川 亜紀子さん

囲碁ボールは2回目の経験でしたが、楽しく取り組むことができました。年齢を問わず気軽に楽しめるスポーツだと思えますので、皆さんもぜひ一度チャレンジしてみてください。

【問い合わせ先】本庁・スポーツ振興課 ☎1111

今月の料理

Vol.2 サバの卵の花あえ

サバの代わりにアジやコノシロでもおいしくいただけます。

皆さん、ぜひお試しください。

〈栄養価〉

エネルギー：113kcal、たんぱく質：9.2g

脂質：5.3g、塩分：1.4g

●材料・分量（約4人分）

- サバ …………… 160g（小半身1枚）
- 塩 …………… 小さじ1杯
- 酢 …………… 1/4カップ
 - ① • 卵の花 …………… 50g
 - ② • 酢 …………… 大さじ1杯
 - ③ • 砂糖 …………… 大さじ1杯
- きくらげ（カット）…………… 2g
- ④ {
 - 薄口しょうゆ… 小さじ2/5杯
 - 砂糖 …………… 小さじ2/5杯
- にんじん …………… 10g
- たけのこ（水煮）…………… 10g
- さやいんげん …………… 8g
- しょうが …………… 1/2かけ

●作り方

- ①しめサバを作る。サバは3枚におろし全体に塩を振って約30分おく。その後、紙タオルで水けをとり、密封できる容器で酢に浸して約20分漬け込む（途中で裏返す）。サバの表面が白くなったら皮をはぎ、中骨をとって細く切る。
- ②なべに①を入れ、火にかけていき、その後冷ましておく。
- ③きくらげは洗ってぬるま湯で戻して、④で下味をつけておく。
- ④にんじんとたけのこは千切りにしてゆでる。さやいんげんはゆでてから斜め細切りにする。
- ⑤①と②をあえて、③と④を加えて軽くまぜ、小鉢に盛り千切りしょうがをのせる。



今号の料理は、市食生活改善推進員協議会栖本分会（岡田恵美子分会長ほか、26人）が担当しました。

今月号の表紙



「第43回牛深ハイヤ祭り」のハイヤ総踊りのようです。牛深高校・郷土芸能部の皆さんや同校の生徒たちが、若さあふれる踊りを披露していました（10～11ページに関連記事）。

倉岳町棚底地区に生息しているマメ科の植物「アイラトビカズラ」の花です（5月1日撮影）。国内で3例しか生息が確認されていない珍しい植物で、例年3月下旬から5月中旬に見ごろを迎えます。あざやかな紫色の花が、見物客の目を楽しませていました。

あざやか “アイラトビカズラ”の花

宝島スナップ

